
はじめに

慶應義塾大学医学部

教授 宮田 裕章 (みやた ひろあき)

第三次 AI ブームは、医療にも大きな影響を与えてきました。この 1 年でも画像診断分野においては、専門家を凌駕する精度を報告する科学論文が多く報告され、Google や Apple という異分野の企業もヘルスケア分野に本格的に参集しています。また 2017 年 9 月に FDA がモバイルアプリの利用を「治療」として認可したこと、2018 年 4 月に医師不在の自動診断装置を認可したことは、ヘルスケア分野に大きな変革をもたらそうとしています。そして 2019 年に日本が骨太の方針で掲げたテーマはデータ駆動型社会です。

AI, IoT を活用する社会基盤そのものも大きく変わろうとしています。本セミナーでは、ブームにとどまらず大きな社会変革をもたらしつつある AI という技術を軸に、最先端の到達点だけでなく、今後の展望を皆様と共有します。